令和6年度　指定管理者制度モニタリング評価表（令和5年度末時点）

1　施設概要

(1)　基本的事項

施設名	尼崎市記念公園	施設所管課	都市整備局　公園維持課			
施設住所	西長洲町1丁目4番1号	竣工	S63.7（築満36年）　※現施設への改築			
設置目的	国際的・全国的な競技会の開催をはじめ、体育・スポーツの振興を通じ、市民の健康で文化的な生活の向上を目的として設置					
主な事業内容	有料公園施設（付属設備の利用を含む）の利用の予約受付（許可、取消し）、公園内においてする行為の許可及びその取消し、公園内においてする行為及び有料公園施設の利用に係る使用料の徴収、減免及び還付に関する業務、公園の施設及び付属設備の維持管理業務					
指定管理者名	公益財団法人 尼崎市スポーツ振興事業団	指定期間	自	R4.4.1	至	R9.3.31

(2)　施設の政策的な特性に係る事項

施設分類	A（施設維持管理に加え、市の政策目的に沿った取組を、市と協働で展開していく施設）
指定管理者に主として期待される事項	☑ 専門的なノウハウを生かした市の施策目的に資する事業実施 ☑ 効率的な施設維持管理運営　☐ 団体等の担い手としての成長 ☐ その他（　　）

3　市と指定管理者が年度当初に共有した目標及び達成状況等の評価

有効性

施設目標の達成に向けた取組（指定事業の効果的な実施、自主的な取組の実施）

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

利用者目線を常に意識しながら取り組み、利用者アンケート調査による「満足」以上の割合が、直近3ヶ年の平均値以上を目標とする。

実施結果

施設及び設備の老朽化が目立つ状況である中、年間を通して目標達成のために意欲的に取り組み、目標を達成した。(指標①)

（参考）有効性に関する指標の設定及びその状況

指 標 ①：　利用者満足度（単位：%）

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標	－	－	－	－	－	90.0%	90.0%	93.6%			
実績	93.7%	91.6%	91.9%	95.4%	93.5%	92.4%	95.0%	96.3%			
達成度	－	－	－	－	－	102.7%	105.6%	102.9%			
評価	－	－	－	－	－	○	◎	◎			

指 標 ②：　トレーニング室利用者数（任意で設定する項目）（単位：人）

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標	―	―	―	―	―	―	65,000	70,000	75,000	80,000	85,000
実績	―	―	90,607	83,260	50,845	59,196	66,278	71,717			
達成度	－	－	－	－	－	－	102.0%	102.5%			
評価	－	－	－	－	－	－	○	○			

◎目標を大きく上回った/上限値に近い実績で推移している、○目標を（概ね）達成した、△目標未達（事情あり）、×目標未達（事情なし）

効率性

①決められた指定管理料内で、市民サービスが維持・向上されているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

施設整備から数十年が経過し、年々、施設及び設備の老朽化が目立つ状況であるが、利用状況や利用者の声を基に優先度合いを見極めて補修・改修を実施する。

実施結果及び評価

老朽化を原因とする施設の閉鎖や設備の使用中止もあったが、限られた予算の中で優先順位をつけ、必要な設備修繕や利用者意見を反映させた施設の改善を行った。利用者の声に真摯に向き合った結果、苦情数は年間で9件に抑えられ、利用者満足度も96.3%に向上し、一定の水準で維持管理できている。

○

市民サービスが、◎大幅に向上した、○維持・向上した、△低下した（特別な事情あり）、×低下した（事情なし）

②効率性と環境に配慮した施設管理を両立できているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

これまでは積極的に電力会社の見直しを行い、電気料金の削減に努めてきたが、燃料費高騰により新電力会社との契約ができないため、今後は不要な電気の消灯や冷暖房の温度設定の徹底等により、電気使用量の削減に努めていく。

実施結果及び評価

冷暖房の設定温度については、建築物衛生法施行令で定められている室温（18度以上28度以下）を守りつつ、事務所等は環境省が推奨する温度設定（夏 28℃、冬20℃）を徹底し、体育館等の屋内運動施設は暑さ指数（WBGT）を表示・確認し、温度設定を調整することで、節電に注力しながら熱中症の危険性が低い快適な環境を提供してきた。

○

◎高水準で両立している、○両立している、△両立しているとまではいえない、×環境への配慮が不足している

（参考）経費の状況（単位：円）

収入				支出			
項目	予算額	決算額	差引	項目	予算額	決算額	差引
指定管理料	229,342,000	229,342,000	0	人件費	66,201,739	73,553,844	-7,352,105
補助金	－	－	－	管理費	103,340,261	90,965,385	12,374,876
雑収入	－	54,230	54,230	光熱費	59,800,000	70,201,744	-10,401,744
収入計	229,342,000	229,396,230	54,230	支出計	229,342,000	234,720,973	-5,378,973

2　指定期間全体を通じての目標・実績

(1)　指定管理者の選定及び指定に当たって重視された事項（選定委員会での主な意見又は市の意思決定理由）

重視された事項	都市基幹公園である運動公園として、都市住民全般の主として運動の用に供するという施設設置目的の実現にあたり、本市のスポーツ推進の実働部隊としての役割を果たしてきた実績を高く評価した。
指定管理者自身が設定した目標	尼崎市のスポーツの拠点として、幅広い年齢層の健康増進、競技力向上等スポーツの振興に寄与し、利用者が安全・安心して快適に運動・スポーツが行え、また、大規模スポーツ大会等の開催により、観戦する人にも夢と感動を与えることができるような施設を目指す。

(2)　市と指定管理者の協議によって設定する目標

施設のありたい姿	利用者が安全・安心して快適に運動・スポーツが行える環境を整える。						
目標指標	指標	運動施設の利用率（稼働数/利用可能枠数）を指標とし、直近3ヶ年の平均値以上を目標とする。					
	指定期間	R4	R5	R6	R7	R8	達成状況の評価
	目標値	63.1%	63.8%				空き施設の利用を積極的に誘致し、利用率を向上させた。
	実績値	70.0%	71.6%				

適正性

法令遵守

施設の管理運営や設備点検、訓練等を適正に行っているか	適正
貸与備品等について台帳を整備し、適切に管理しているか	適正
公文書管理条例の趣旨に則り、文書を管理しているか。協議録等、必要な文書を作成しているか	適正
個人情報保護条例や情報公開に係るルールを遵守しているか	適正
公共調達基本条例、暴力団排除条例、その他の法令は遵守されているか	適正

施設の経営状況

収支及びその結果報告や変更時の報告・連絡・相談が適切・適正にされているか	適正
指定管理者自身の経営状況は健全か	適正

危機管理ー事故防止の安全対策や防犯・防災対策が適切にとられているか

災害時の対応について、市との協議・共有が図られているか	適正
災害時や緊急時のマニュアルを作成し、定期的に訓練等を行っているか	適正
災害時や緊急時の対応責任者、責任体制は整備されているか	適正

履行状況ー提案時及び年度当初の計画等のとおりに業務を行ったか

年度事業計画書における計画どおりに業務が遂行されたか	適正
選定時の提案内容が実施されているか	適正
業務マニュアルを定めるなど、安定的に履行できるよう取り組んでいるか	適正

パートナーシップ

関係性の構築

月1回以上現地にて共有会を行うほか、適宜の報告・連絡・相談を互いに密にすることで、信頼関係がさらに深まった。

協働の状況（グループAは協働の相乗効果の視点、グループBはパートナーシップを踏まえた施設管理業務の状況）

広く市民に利用してもらえるよう様々な競技種目、幅広い年齢層を対象とした大会・イベント等を誘致し、偏った利用状況とならないよう年間の利用調整を行っている。アフターコロナで各種イベントや大会が再開されはじめる中、市長旗大会等の開催に向け、感染防止の対策等を適切にとりながら、円滑な大会運営が行えるようサポートに努めた。

指定管理者の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた市への提案事項（総括）

「する」「みる」「支える」を実現するスポーツ施設として、スポーツのまち促進事業をはじめ企業団体の運動会開催誘致や、各種競技団体の大会や大相撲巡業の利用調整、運営協力により、利用率を向上させることができた。

日常点検の徹底による早期の修繕対応等により事故防止に努めるとともに、施設の老朽化に伴う高額な修繕（50万円を超えるもの）箇所も増えている状況であるが、可能な限り事業団で対応することで、尼崎市の財政負担軽減にも協力していく。

※50万を超える修繕

総合体育館消防設備改修　1,239,700円・陸上競技場屋外トイレ改修工事　990,000円・野球場照明球取替

市の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた指定管理者への提案事項（総括）

各種事業の積極的な実施、利用者の満足度の高さからも、指定管理業務は良好に遂行されている。施設整備から数十年が経過し、施設及び備品に老朽化が目立つ状況であるが、適宜情報を共有しながら、優先順位を付けて対応していきたい。

引き続き、新規利用者の獲得や市内の子ども達が活躍の場をさらに広げられるような提案を期待する。

双方の総括を踏まえた協議の結果及び今後の取組の方向性（単年度及び指定期間中の目標を踏まえて記載）

施設および設備の定期的な点検を実施し、予防保全に努めていく。必要な修繕等については、市と協議の上、適切に対応を行っていく。引き続き、施設設置目的に沿った事業計画の実施と利用者ニーズに対する積極的な各種取組により、新たな利用者の掘り起こしを行うとともに、地域との協働による花の植え付け等により公園全体の美化および活性化に努めていく。

令和6年度　指定管理者制度モニタリング評価表（令和5年度末時点）

1　施設概要

(1)　基本的事項

施設名	橘公園、西向島公園、猪名川公園、魚つり公園	施設所管課	都市整備局　公園維持課				
施設住所	東七松町1丁目他	竣工	S26.12～R2.3（築満69～3年）				
設置目的	安心・安全で快適な緑の場、スポーツ及び憩いの場を提供すること。						
主な事業内容	有料公園施設（付属設備の利用を含む。）の利用の予約受付（許可、取消し）、 公園内においてする行為の許可及びその取消し、公園内においてする行為 及び有料公園施設の利用に係る使用料の徴収、減免及び還付に関する業務、 公園の施設及び付属設備の維持管理業務						
指定管理者名	パークマネジメント尼崎	指定期間	自	R4.4.1	至	R9.3.31	

(2)　施設の政策的な特性に係る事項

施設分類	B（指定管理者の役割が、施設維持管理等に係るものが主である施設）
指定管理者に主として期待される事項	☑専門的なノウハウを生かした市の施策目的に資する事業実施 ☑効率的な施設維持管理運営　　□団体等の担い手としての成長 □その他（　　）

3　市と指定管理者が年度当初に共有した目標及び達成状況等の評価

有効性

施設目標の達成に向けた取組（指定事業の効果的な実施、自主的な取組の実施）

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）
利用者満足を向上させ、公園の利用促進を目指す。

実施結果
指標①、②ともに目標値を達成しており、公園の利用促進ができている結果であると考えられる。

（参考）有効性に関する指標の設定及びその状況

指 標 ①： 利用者満足度アンケートでの満足度（単位：%）

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標	－	－	－	－	95%	95%	95%	95%	95%	95%	95%
実績	－	－	－	－	97.9%	98.0%	95.2%	97.7%			
達成度	－	－	－	－	103%	103%	100%	103%			
評価	－	－	－	－	○	○	○	○			

指 標 ②： 利用者満足度アンケートでの利用頻度：週に１回　以上（単位：%）

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標	－	－	－	－	－	－	50%	50%	50%	50%	50%
実績	－	－	－	－	－	－	46%	50.5%			
達成度	－	－	－	－	－	－	92%	101%			
評価	－	－	－	－	－	－	○	○			

◎目標を大きく上回った/上限値に近い実績で推移している、○目標を（概ね）達成した、△目標未達（事情あり）、×目標未達（事情なし）

効率性

①決められた指定管理料内で、市民サービスが維持・向上されているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）
橘公園を中心とした公園の価値向上を目指した実証実験（コーエンスイッチ）を行い、公園利用促進につなげる

実施結果及び評価
橘公園で実証実験（コーエンスイッチ）を昨年度に引き続き行っており、キッチンカーなどのイベント効果によって、公園利用者の増加や満足度の向上など利用促進につながる結果が出ており、今後も期待できる。　○

市民サービスが、◎大幅に向上した、○維持・向上した、△低下した（特別な事情あり）、×低下した（事情なし）

②効率性と環境に配慮した施設管理とを両立できているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）
昨年度実施した樹木点検の結果を用いて、維持管理の効率性を向上させる。また、長期スパンでの維持管理を行うことで、樹木の生育しやすい環境づくりを行い、枯死するような木を無くし、環境への配慮も目指す。

実施結果及び評価
樹木点検から樹木の状態を把握し、樹木の高さを下げる剪定などを行うことによって、安全で効率的な維持管理に前向きに取り組んでいる。　○

◎高水準で両立している、○両立している、△両立しているとまではいえない、×環境への配慮が不足している

（参考）経費の状況（単位：円）

収入				支出			
項目	予算額	決算額	差引	項目	予算額	決算額	差引
指定管理料	111,810,000	129,048,390	17,238,390	人件費	25,017,000	28,060,017	-3,043,017
補助金			0	事業費	7,356,000	5,176,837	2,179,163
				施設維持管理運営費	61,592,000	54,507,491	7,084,509
				その他	17,845,000	23,619,285	-5,774,285
収入計	111,810,000	129,048,390	17,238,390	支出計	111,810,000	111,363,630	446,370

2　指定期間全体を通じての目標・実績

(1)　指定管理者の選定及び指定に当たって重視された事項（選定委員会での主な意見又は市の意思決定理由）

重視された事項	・今回募集を行った指定管理期間の先も見据えた各公園の中長期的なビジョンを掲げた上で、この5年間で取り組むべき内容を計画的に検討する姿勢が評価できる。 ・地域からの提案事業と協力して公園を活性化する考え方が評価できる。
指定管理者自身が設定した目標	・災害に強い公園になる。 ・身近な公園として魅力向上、再発見。 ・利用者の健康に寄与する公園になる。

(2)　市と指定管理者の協議によって設定する目標

施設のありたい姿	施設利用者の視点でニーズを捉え、高い満足度が得られる安定的な施設管理とサービスを提供する。						
目標指標	指標	利用者満足度アンケートでの満足度					
	指定期間	R4	R5	R6	R7	R8	達成状況の評価
	目標値	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	昨年度に引続き目標を達成しており、評価できる。
	実績値	95.2	97.7				

適正性

法令遵守

施設の管理運営や設備点検、訓練等を適正に行っているか	適正
貸与備品等について台帳を整備し、適切に管理しているか	適正
公文書管理条例の趣旨に則り、文書を管理しているか。協議録等、必要な文書を作成しているか	適正
個人情報保護条例や情報公開に係るルールを遵守しているか	適正
公共調達基本条例、暴力団排除条例、その他の法令は遵守されているか	適正

施設の経営状況

収支及びその結果報告や変更時の報告・連絡・相談が適切・適正にされているか	適正
指定管理者自身の経営状況は健全か	健全

危機管理ー事故防止の安全対策や防犯・防災対策が適切にとられているか

災害時の対応について、市との協議・共有が図られているか	適正
災害時や緊急時のマニュアルを作成し、定期的に訓練等を行っているか	適正
災害時や緊急時の対応責任者、責任体制は整備されているか	適正

履行状況ー提案時及び年度当初の計画等のとおりに業務を行ったか

年度事業計画書における計画どおりに業務が遂行されたか	適正
選定時の提案内容が実施されているか	適正
業務マニュアルを定めるなど、安定的に履行できるよう取り組んでいるか	適正

パートナーシップ

関係性の構築

最低月1回は打合せを行っており、良好な関係である。

協働の状況（グループAは協働の相乗効果の視点、グループBはパートナーシップを踏まえた施設管理業務の状況）

指定管理者より施設の修繕提案を積極的にされており、公園を利用しやすい環境にするために、市と指定管理者で良く話し合えている。

指定管理者の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた市への提案事項（総括）

成果としては、修繕の提案を積極的に行い、実施できたと考えている。課題としては、老朽化している箇所が多々あるため優先順位を考えた施設修繕に加え、利用促進の観点からも環境の美化に向けて取り組みを推進していきたい。

市の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた指定管理者への提案事項（総括）

成果としては、市と指定管理者共に各公園の樹木点検を行い、危険木の把握及び情報共有ができたことである。課題としては、危険木が多くあることがわかったので、市も協力して危険木撤去を行い、安全で効率的な日常管理に取り組んでもらいたい。

双方の総括を踏まえた協議の結果及び今後の取組の方向性（単年度及び指定期間中の目標を踏まえて記載）

ソフト面及びハード面の整備を同時進行で進めていくために、利用促進に向けた計画と修繕計画の立案を行う。

令和６年度　指定管理者制度モニタリング評価表（令和５年度末時点）

１　施設概要

⑴　基本的事項

施設名	尼崎市立魚つり公園	施設所管課	都市整備局　公園維持課			
施設住所	尼崎市平左衛門町66	竣工	S57（築満40年）			
設置目的	市民に安全で快適な魚つりの場及び憩いの場を提供することにより、市民の余暇の活用を図る。					
主な事業内容	・魚釣施設、駐車場または管理棟内においてする行為の許可、その取消し ・魚釣施設等の利用（付属設備のうち規則で定めるものの利用を含む。）に関する業務 ・魚釣施設等及び管理棟の施設並びにこれらの付属設備の維持管理業務					
指定管理者名	ハウスビルシステム・尼漁開発グループ	指定期間	自	R2.4.1	至	R6.3.31

⑵　施設の政策的な特性に係る事項

施設分類	B（指定管理者の役割が、施設維持管理等に係るものが主である施設）
指定管理者に主として期待される事項	☑専門的なノウハウを生かした市の施策目的に資する事業実施 ☑効率的な施設維持管理運営　　□団体等の担い手としての成長 □その他（　　）

３　市と指定管理者が年度当初に共有した目標及び達成状況等の評価

有効性

施設目標の達成に向けた取組（指定事業の効果的な実施、自主的な取組の実施）

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

施設利用者数について、毎年度5万人超及び利用満足度の向上を目指す。

実施結果

各種イベントが定着してきており、安定した集客に繋がっていると考えられる。また、アンケートの満足度が目標を大幅に達成しており、質の高いサービスや接客を心掛けていることが、内容からも読み取れ、成果がでていると考えられる。

（参考）有効性に関する指標の設定及びその状況

指 標①：　年間来場者数（単位：%）

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000		
実績	31,435	29,884	18,584	0	43,851	49,887	54,314	49,879			
達成度	62.9%	59.8%	37.2%	0.0%	87.7%	99.8%	108.6%	99.8%			
評価	×	△	△	△	△	○	◎	○			

指 標②：　利用者満足度アンケートでの満足度（単位：%）

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標	－	－	－	－	－	－	90%	90%	90%		
実績	－	－	－	－	－	－	87%	95%			
達成度	－	－	－	－	－	－	97%	106%			
評価	－	－	－	－	－	－	○	◎			

◎目標を大きく上回った/上限値に近い実績で推移している、○目標を（概ね）達成した、△目標未達（事情あり）、×目標未達（事情なし）

効率性

①効率的な施設の維持管理運営により、市民サービスが維持・向上されているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

つり大会、つり教室、様々な利用者サービスを行い、多くの市民へ利用してもらうことで末永く施設を維持する。

実施結果及び評価

様々な利用者サービスが行われており、施設の修繕へも積極的な姿勢で考え、取り組んでいる。

○

市民サービスが、◎大幅に向上した、○維持・向上した、△低下した（特別な事情あり）、×低下した（事情なし）

②効率性と環境に配慮した施設管理とを両立できているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

未来を見据えたより良い釣り環境のため、稚魚放流を行う。フィッシュシェアリングや子ども食堂を行ったり、釣り場での課題であるゴミとなる釣れた魚の骨を活用し、ドッグフードとして販売し、その利益を保護猫や保護犬活動の団体へ寄付を行う。

実施結果及び評価

事業をSDGsに基づき、取り組まれており、長いスパンでの施設管理を期待できる。

○

◎高水準で両立している、○両立している、△両立しているとまではいえない、×環境への配慮が不足している

（参考）経費の状況（単位：円）

収入				支出			
項目	予算額	決算額	差引	項目	予算額	決算額	差引
利用料金	75,600,000	66,232,370	-9,367,630	人件費	24,720,000	22,769,660	1,950,340
			0	事務費	4,396,000	2,213,510	2,182,490
				施設維持管理運営費	20,133,000	15,164,582	4,968,418
				その他	26,351,000	12,955,868	13,395,132
収入計	75,600,000	66,232,370	-9,367,630	支出計	75,600,000	53,103,620	22,496,380

２　指定期間全体を通じての目標・実績

⑴　指定管理者の選定及び指定に当たって重視された事項（選定委員会での主な意見又は市の意思決定理由）

重視された事項	・魚釣施設等の長年に渡る管理運営実績や他施設の管理運営など、安定した経営が図られてきた。 ・利益還元の方法として、年間修繕額を設け、施設のさらなる魅力向上のために投資する提案があった。
指定管理者自身が設定した目標	・目指せ施設の末永い存続！ ・目指せ年間入園者数50,000人！

⑵　市と指定管理者の協議によって設定する目標

施設のありたい姿	施設利用者の視点でニーズを捉え、高い満足度が得られる安定的な施設管理とサービスを提供する。

目標指標	指標	施設利用者数（人）					
	指定期間	R2	R3	R4	R5	R6	達成状況の評価
	目標値	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	目標にあとわずか届かなかったが、高い数値を維持しており、好調である。
	実績値	43,851	49,887	54,314	49,879		

適正性

法令遵守	
施設の管理運営や設備点検、訓練等を適正に行っているか	適正
貸与備品等について台帳を整備し、適切に管理しているか	適正
公文書管理条例の趣旨に則り、文書を管理しているか。協議録等、必要な文書を作成しているか	適正
個人情報保護条例や情報公開に係るルールを遵守しているか	適正
公共調達基本条例、暴力団排除条例、その他の法令は遵守されているか	適正
施設の経営状況	
収支及びその結果報告や変更時の報告・連絡・相談が適切・適正にされているか	適正
指定管理者自身の経営状況は健全か	適正
危機管理ー事故防止の安全対策や防犯・防災対策が適切にとられているか	
災害時の対応について、市との協議・共有が図られているか	適正
災害時や緊急時のマニュアルを作成し、定期的に訓練等を行っているか	適正
災害時や緊急時の対応責任者、責任体制は整備されているか	適正
履行状況ー提案時及び年度当初の計画等のとおりに業務を行ったか	
年度事業計画書における計画どおりに業務が遂行されたか	適正
選定時の提案内容が実施されているか	適正
業務マニュアルを定めるなど、安定的に履行できるよう取り組んでいるか	適正

パートナーシップ

関係性の構築

月１回、月次報告書提出時に打合せを行い、良好な関係である。

協働の状況（グループAは協働の相乗効果の視点、グループBはパートナーシップを踏まえた施設管理業務の状況）

年間修繕額を設け、積極的に修繕を行っており、大規模なものにおいては、市も施設の修繕金の負担に協力できている。

指定管理者の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた市への提案事項（総括）

今年度5月に新型コロナウイルス感染症の位置付けが5類に移行し、レジャーの選択肢も従前同様に回復した。そのような状況下、施設利用者数は昨年実績比で約4,000人の減少となった。回復対策としてSNSを活用し、阪神間の大学へのPR活動、市内別途施設での魚つりイベント企画・実行、子ども食堂イベント時に於ける食材提供等により、目標値50,000人の達成を再度目指す。

市の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた指定管理者への提案事項（総括）

魚つり事務所の大規模修繕を今年度行ったことにより、これまで以上に現地で指定管理者と密に話し合いができ、詳細な業務内容や修繕が必要な個所の共有を行うことができた。課題としては、利用者の少ない季節（冬季期間）に集客を増やすにはどうすれば良いか、継続して協議していきたい。

双方の総括を踏まえた協議の結果及び今後の取組の方向性（単年度及び指定期間中の目標を踏まえて記載）

施設修繕に関しては、魚つり事務所の大規模修繕を市で行い、施設の年間修繕を都度、指定管理者で行うことにより、計画的に進めている。この施設を末永く存続させるために、今後は、さらなる利用者の増加及び魅力向上を目指してPRを含めた様々な取り組みを行っていく。

令和６年度　指定管理者制度モニタリング評価表（令和５年度末時点）

１　施設概要

⑴　基本的事項

施設名	中央公園、庄下川東広場	施設所管課	都市整備局　公園維持課
施設住所	尼崎市神田北通1丁目9、神田中通1丁目4他	竣工	S28.5.20、S33.10.22
設置目的	市民が遊び、憩うことができる場を提供するとともに、緑とオープンスペースの確保を図り、もって市民の福祉の増進に寄与する。		
主な事業内容	公園施設（付属設備の利用を含む。）の利用の予約受付、公園内における行為の許可及びその取消し並びに行為に係る使用料の徴収、減免及び還付に関する業務、公園の施設及び付属設備の維持管理業務		
指定管理者名	阪神尼崎駅周辺まちづくり共同企業体	指定期間	自　R5.4.1　至　R10.3.31

⑵　施設の政策的な特性に係る事項

施設分類	A（施設維持管理に加え、市の政策目的に沿った取組を、市と協働で展開していく施設）
指定管理者に主として期待される事項	☑専門的なノウハウを生かした市の施策目的に資する事業実施 □効率的な施設維持管理運営　□団体等の担い手としての成長 □その他（　　）

３　市と指定管理者が年度当初に共有した目標及び達成状況等の評価

有効性

施設目標の達成に向けた取組（指定事業の効果的な実施、自主的な取組の実施）

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

利用者満足度を向上させ、公園の利用促進及び滞在者数の向上を目指す。

実施結果

日常的に中央公園ですごしてもらうことを目的とし、チェアリングのほか、子供向け習い事講座やマルシェイベント、フードトラック等を実施した。満足度向上のため、修繕や美装化など環境づくりも含め今後の取組を期待する。今年度、2階デッキ部分にもファニチャーを設置するなど滞在空間の増設が利用しやすい空間づくりへ寄与し、居心地の満足度や利用頻度を高める取組となった。

（参考）有効性に関する指標の設定及びその状況

指標①：居心地の満足度アンケート　7点満点中の平均点数（単位：点数）

年度	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
目標	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	－	－	－	－	－	－
実績	4.1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
達成度	82%	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
評価	△	－	－	－	－	－	－				

指標②：中央公園利用頻度　毎日・週に数回・月に数回利用する人の割合（単位：%）

年度	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
目標	70%	70%	75%	80%	80%	－	－	－	－	－	－
実績	72%	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
達成度	102%	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
評価	○	－	－	－	－	－	－				

◎目標を大きく上回った/上限値に近い実績で推移している、○目標を（概ね）達成した、△目標未達（事情あり）、×目標未達（事情なし）

効率性

①決められた指定管理料内で、市民サービスが維持・向上されているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

総合窓口の設置やイベントの実施等により、施設の使用や利活用を促進する

実施結果及び評価

総合窓口での使用申請等の一括受付やオンライン申請の導入により利用申請が容易になったほか、中央公園での4半期ごとの大規模イベント等により施設利用者数及び利用者層が拡大した。その他、包括管理により削減したコストを施設の修繕等のサービス向上に充当した。

◎

市民サービスが、◎大幅に向上した、○維持・向上した、△低下した（特別な事情あり）、×低下した（事情なし）

②効率性と環境に配慮した施設管理とを両立できているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

従事する職員の流動的な人員配置により運営コストを抑制するほか、使用申請受付にオンライン申請を導入することでペーパーレスに取り組む。

実施結果及び評価

中央公園管理棟・観光案内所・尼崎城など、施設間での流動的な人員配置により、コストを削減した。また、森林認証製品(FSC認証)のある紙の使用、ペーパーレス化、ゴミの分別を促進した。

◎

◎高水準で両立している、○両立している、△両立しているとまではいえない、×環境への配慮が不足している

（参考）経費の状況（単位：円）

収入				支出			
項目	予算額	決算額	差引	項目	予算額	決算額	差引
指定管理料	39,086,000	39,086,000	0	人件費	418,000	417,672	328
				施設維持管理運営費	34,311,000	34,236,101	104,899
				その他	4,327,000	3,465,377	861,623
収入計	39,086,000	39,086,000	0	支出計	39,086,000	38,119,150	966,850

２　指定期間全体を通じての目標・実績

⑴　指定管理者の選定及び指定に当たって重視された事項（選定委員会での主な意見又は市の意思決定理由）

重視された事項	団体の所有する資源の活用により、エリア全体を俯瞰した企画・広報が可能であることが指定理由である。 選定基準は①対象施設周辺エリアの賑わい創出、魅力向上が図られるものであるか　②市民の平等な利用が確保されるものであるか　③施設の利用を最大限に発揮させるとともに、その管理に係る経費の縮減が図られるものであるか　④施設の管理を安定して行う能力を有しているものであるか　⑤賑わいづくりや魅力向上に向けて相乗効果を発揮するような新たな提案（加点）
指定管理者自身が設定した目標	管理運営方針（基本理念）として、次に掲げる項目を設定した。 ○施設の一体的な管理運営による効果的な賑わい創出や周遊促進につながる施設間連携の強化、利便性・快適性の強化等に努める。 ○維持管理方法の効率化や維持管理水準の適正化によりコスト削減に努める。 ○統括責任者にマネジメント機能を強化し、企業体としての経営資源（ヒト、モノ、カネ）の効果的運用や情報の一元化、円滑な調整及び意思決定の迅速化を行うことで、事業全体を円滑にコントロールする。

⑵　市と指定管理者の協議によって設定する目標

施設のありたい姿	日常、非日常に応じた様々な種類・規模のイベント等の開催や空間の魅力を向上するための取組を行うことにより、公園の周遊性や利用促進の向上を図り、滞在を促す。

目標	指標	中央公園利用頻度　毎日・週に数回・月に数回利用する人の割合（単位：%）					
	指定期間	R5	R6	R7	R8	R9	達成状況の評価
指標	目標値	70%	70%	75%	80%	80%	達成した
	実績値	72%					

適正性

法令遵守	
施設の管理運営や設備点検、訓練等を適正に行っているか	適正
貸与備品等について台帳を整備し、適切に管理しているか	適正
公文書管理条例の趣旨に則り、文書を管理しているか。協議録等、必要な文書を作成しているか	適正
個人情報の保護に関する法律等や情報公開に係るルールを遵守しているか	適正
公共調達基本条例、暴力団排除条例、その他の法令は遵守されているか	適正
施設の経営状況	
収支及びその結果報告や変更時の報告・連絡・相談が適切・適正にされているか	適正
指定管理者自身の経営状況は健全か	適正
危機管理ー事故防止の安全対策や防犯・防災対策が適切にとられているか	
災害時の対応について、市との協議・共有が図られているか	適正
災害時や緊急時のマニュアルを作成し、定期的に訓練等を行っているか	適正
災害時や緊急時の対応責任者、責任体制は整備されているか	適正
履行状況ー提案時及び年度当初の計画等のとおりに業務を行ったか	
年度事業計画書における計画どおりに業務が遂行されたか	適正
選定時の提案内容が実施されているか	適正
業務マニュアルを定めるなど、安定的に履行できるよう取り組んでいるか	適正

パートナーシップ

関係性の構築

月1回の定例会にて活発な意見交換を行うほか、当施設の改善向けて報告・連絡・相談を互いに密にすることで、信頼関係が深まった。

協働の状況（グループAは協働の相乗効果の視点、グループBはパートナーシップを踏まえた施設管理業務の状況）

年次計画書に基づき、適正な点検を実施しており、毎月、点検結果を報告するなど情報共有を行っている。また、市からの維持管理に関する提案に対しても迅速に対応するなど、市と協働して施設管理に努めている。

指定管理者の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた市への提案事項（総括）

他の周辺公共施設との連携による効率化で賑わいづくりの原資を捻出し、多様なイベントを開催することにより、市民に楽しんでいただけた。一方、維持管理の質を上げるため、老朽化施設や構造物の修繕については、今期以上に推し進め、スムーズな維持管理ができるよう尼崎市と広い視野をもって協働し、進めていきたい。

周辺公共施設を一体管理することで、それぞれの施設との関連にも配慮し、幅広い連携を生み出せる下地ができた。今後中央公園1階とペデストリアンデッキ、尼崎城址公園の繋がりや周遊性を高め、利用促進に努めるが、ペデストリアンデッキは、市民が滞留、交流する場づくりとしての施策が必要なため、尼崎市と今後、協議していきたい。また、中央公園では、ごみのポイ捨てや喫煙が後を絶たず、併せて器物の破損、汚損も一定数発生しており、市民のモラルの向上等は市の施策とも関連するため、対策等について協働できるようお願いしたい。

市の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた指定管理者への提案事項（総括）

樹木の剪定をはじめ、公園の維持管理については、市への報告も含め問題なく行っている。

また、中央公園については、阪神尼崎駅前で人の往来も多いことから、様々なイベント等が行われるが、無許可の使用者に対しては速やかに指導を行うとともに、許可の可否など疑義が生じた場合はその都度市に相談するなど、適切に許可等の手続を行っている。また、公園の利用に関するトラブルや苦情も多数あるが、市への報告も含め適切に対応している。

主催イベントの実施に加え、近隣団体・施設との連携や活動主体者掘り起こしの取組、公園やペデストリアンデッキでの過ごし方を提案する取組をお願いしたい。

双方の総括を踏まえた協議の結果及び今後の取組の方向性（単年度及び指定期間中の目標を踏まえて記載）

城址公園やペデストリアンデッキも含めた中央公園の周遊性や利用促進の向上及び滞在者数の増加を目的とし、ペデストリアンデッキでの滞在性を向上する取組を双方連携により実施する。また、市民が滞留、交流する場づくりとしては、関係人口の増加を目的とし、近隣施設や活動主体者掘り起こしの取組を積極的に行っていく。一方、ごみのポイ捨てや器物の破損など公園利用者のモラルの低さに起因する課題も少なからずあることから、路上喫煙防止事業と連携しながら喫煙所の拡大等も含め、公園内の秩序の維持に取り組んでいく。